

**第19回中山義秀文学賞が決定！
天野純希さんの「破天の剣」が受賞**

11月9日、市立図書館（道場小路）で「第19回中山義秀文学賞公開選考会」が開催されました。選考会では、作家の津本陽さん、竹田真砂子さん、安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さんの4人の選考委員により審査が行われました。受賞作品決定の瞬間を見ようと駆け付けた多くの文芸ファンが見守る中、最終選考に残った3作品の中から、天野純希さんの「破天の剣」が受賞作に選ばれました。



▲公開選考会の様子

**みんなで守る地域医療フォーラム
地域医療のあり方を考える**

11月4日、ホテルサンルート白河（新白河駅前）で「みんなで守る地域医療フォーラム」が開催され、一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会代表理事の阿真京子さんが「小児医療、そして地域医療を守るために」をテーマに基調講演を行いました。続いて行われたパネルディスカッションでは、本市の小児医療をはじめとした地域医療の現状や課題について意見を交換し、約150人の来場者が地域医療のあり方について理解を深めました。



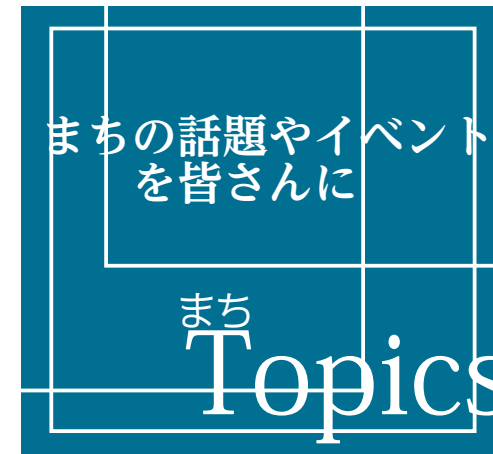
▲パネルディスカッションの様子

**地方銀行フードセレクション2013
白河の優れた食料品の販路拡大**

10月21日・22日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で、全国の地域色豊かな食材の販路拡大を目的とした「地方銀行フードセレクション2013」が開催されました。市と(株)東邦銀行が締結した包括連携協定に基づき、本市からは、白河地区食品販路拡大協議会（齋藤孝弘会長）が参加し、自社食品のこだわりや安全性をPRしました。あわせて、食や歴史など本市の魅力を紹介しました。



▲会場で食品のこだわりや安全性をPRする様子



▲多くの来場者でにぎわった会場の様子

**しらかわ紅葉まつり
身近にある紅葉の美しさを堪能**

11月16日・17日、市役所本庁舎裏側駐車場と谷津田川せせらぎ通りで「しらかわ紅葉まつり」が開催されました。この祭りは、身近な観光資源である、まちなかの紅葉を知ってもらうために、今年初めて行われました。紅葉アートで飾り付けされた市役所会場には、新そばや分とく山の野崎洋光総料理長が監修した「白河巻き」など白河の名物を提供するブースや、周辺の町内会による「美味しいものブース」が設けられました。また、せせらぎ通りでは、快晴の中、紅葉を眺めながら南湖だんごを食べる人の姿や、人力車で紅葉を楽しむ人の姿が見られました。夕方になると、260個の竹灯籠がライトアップとともに幻想的な雰囲気を醸し出し、来場者は紅葉の美しさに魅了されていました。



▲せせらぎ通りに設置された休憩所

**国道4号「白河橋（上り線）」渡橋式
4車線化に向けて、橋の開通を祝う**

国道4号の4車線化拡幅事業に伴い整備が進められてきた、金勝寺地内「白河橋（上り線）」の工事が完了し、11月7日、渡橋式が行われました。式では、鈴木市長と酒井洋一国土交通省郡山国道事務所長がさくら保育園の園児と橋銘板を除幕し、続いて、参加者がダルライザーやしらかわんと完成した橋を渡り、開通を祝いました。年内には、白河橋とその前後あわせて約700mの区間で、4車線の供用が開始される予定です。



▲橋を渡り開通を祝う参加者